

このまちの100年

「松戸」

関東大震災以降には東京の都市機能の一端を担うようになり、戦後は住宅地・工業地としても発展。大学や学校も多数立地しました。昭和40年代になると多くの商業ビルが建設され、商業都市としても発展してきました。



明治後期

金町側から望む江戸川。中央奥が松戸宿の渡船場



大正後期～昭和初期

松戸尋常高等小学校。現在のKITE MITE MATSUDOの場所にあった



昭和2年頃

初代より600mほど下流に建設中の二代目葛飾橋



昭和戦前期

昭和11年に電化された後の様子。奥の跨線橋の場所が、松戸駅



昭和戦前期

松戸町役場。松戸町は昭和18年に松戸市となった



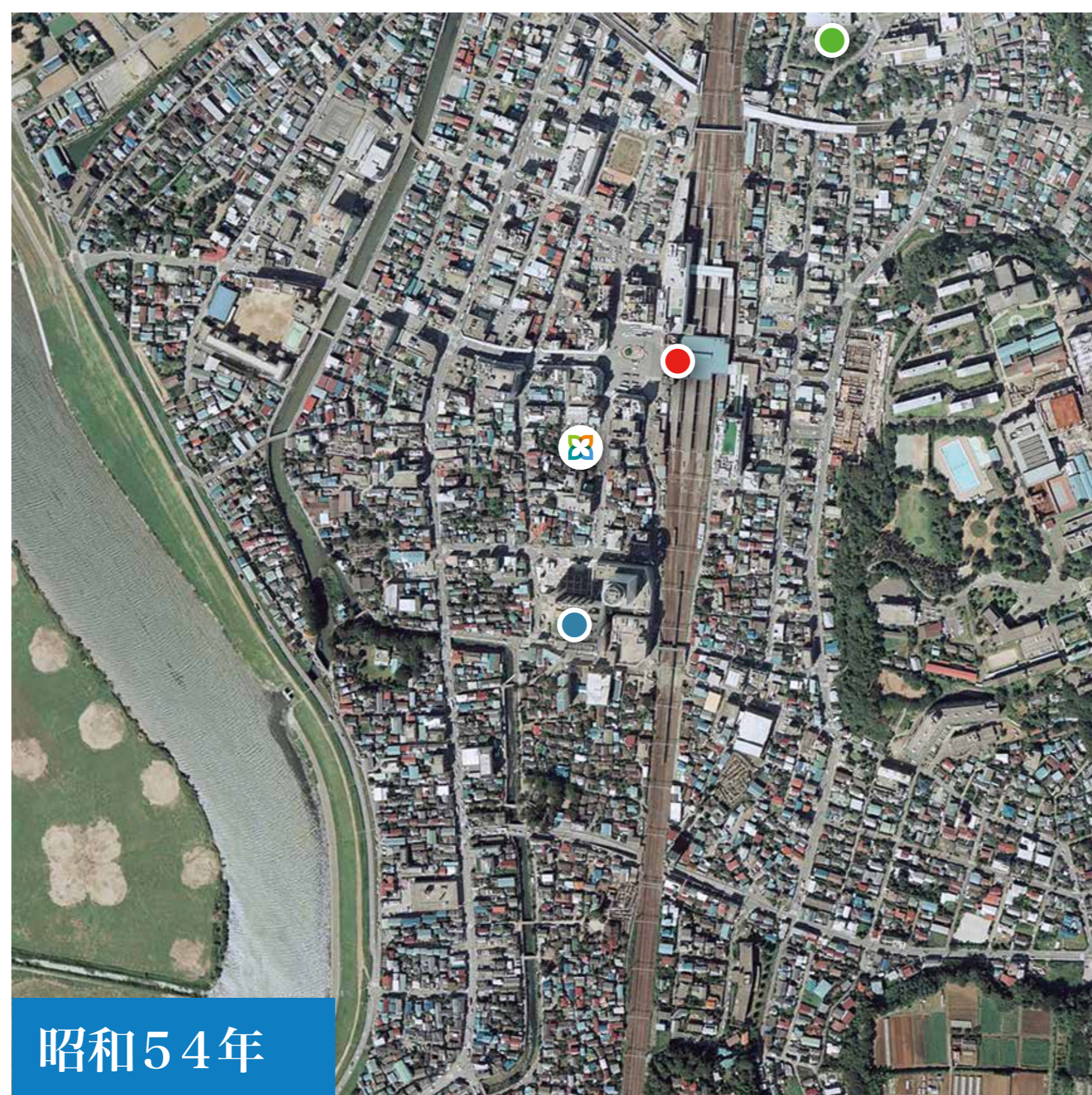
昭和58年

新松戸駅の西から北方面を望む。高架橋は武蔵野線で、昭和48年に開通した

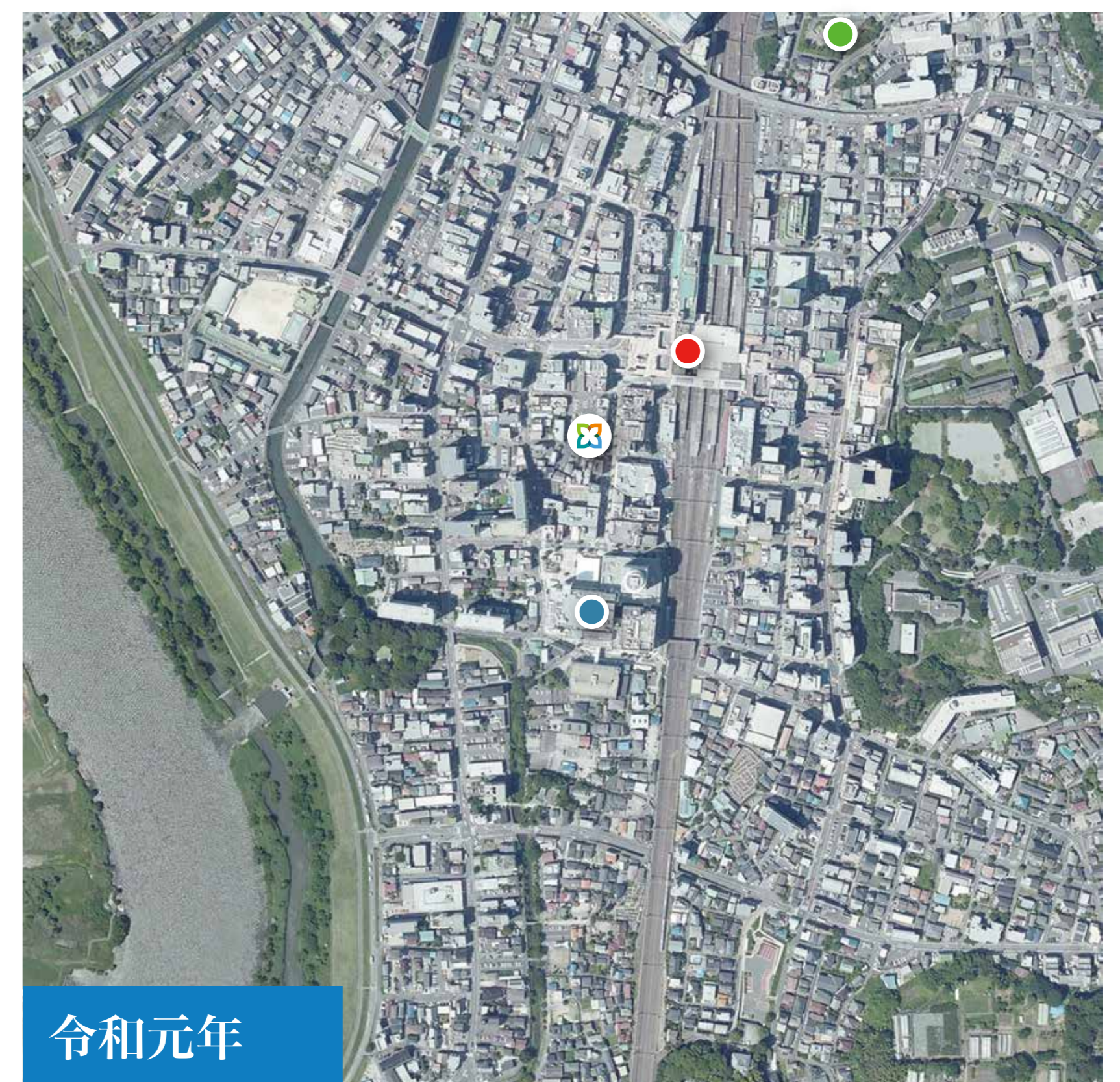
上空からみた松戸エリア



昭和11年



昭和54年



令和元年

: 現在地
 : 伊勢丹 / KITE MITE MATSUDO
 : 松戸町役場 / 松戸市役所
 : 松戸駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ